



JAPAN HERITAGE

日本遺産

藍のふるさと阿波

（日本中を染め上げた至高の青を訪ねて）

日本遺産
ガイド
マニュアル



藍のふるさと阿波

（日本中を染め上げた至高の青を訪ねて）

日本遺産
ガイド
マニュアル

目次

1. 日本遺産ガイドの役割	3
日本遺産とは	4
日本遺産の主旨と目的	4
日本遺産事業の方向性	4
日本遺産認定による効果	4
日本遺産ガイドの役割	5
2. 日本遺産ガイドに必要なスキル	7
コミュニケーション・ホスピタリティ	8
ストーリーと構成文化財の知識	11
ガイド実務	32
ガイド業務の流れ（事前準備、ガイド中、業務終了後）	32
モデルコースに沿ったガイド実務例	33
3. インバウンド対応	37
インバウンド対応基礎	39
基本のおもてなしフレーズ	40
日本遺産ガイド頻出単語	41
指さしガイドツール	42
出典・参考文献・参考 Web サイト	44

1. 日本遺産ガイドの役割

日本遺産とは

日本遺産の主旨と目的

日本遺産事業の方向性

日本遺産認定による効果

日本遺産ガイドの役割

日本遺産とは

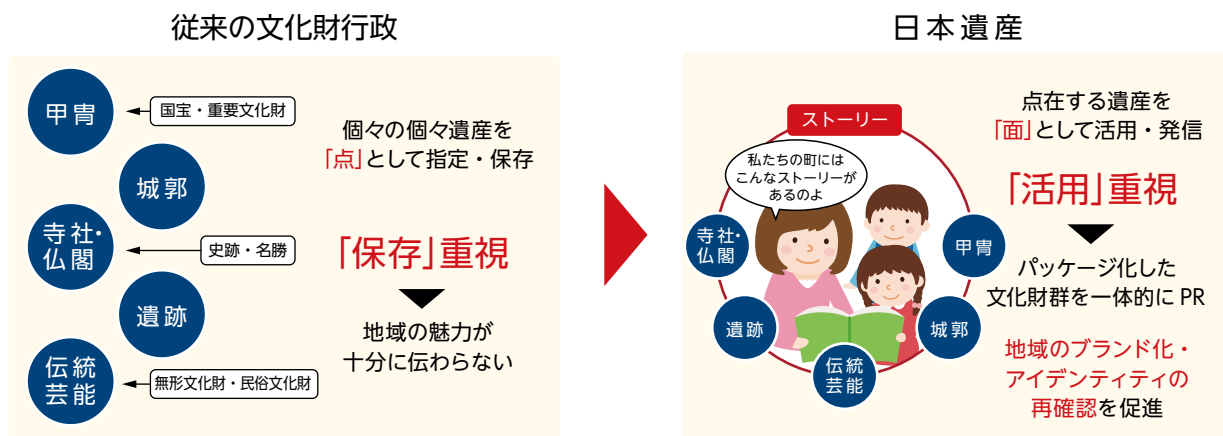
日本遺産の主旨と目的

我が国の文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図るためには、その歴史的経緯や、地域の風土に根ざした世代を超えて受け継がれている伝承、風習などを踏まえたストーリーの下に有形・無形の文化財をパッケージ化し、これらの活用を図る中で、情報発信や人材育成・伝承、環境整備などの取り組みを効果的に進めていくことが必要です。文化庁では、地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として認定し、ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取り組みを支援しています。世界遺産登録や文化財指定は、いずれも登録・指定される文化財（文化遺産）の価値付けを行い、保護を担保することを目的とするものです。一方で日本遺産は、既存の文化財の価値付けや保全のための新たな規制を図ることを目的としたものではなく、地域に点在する遺産を「面」として活用し、発信することで、地域活性化を図ることを目的としている点に違いがあります。

日本遺産事業の方向性

日本遺産事業の方向性は次の3つに集約されます。

- ① 地域に点在する文化財の把握とストーリーによるパッケージ化
- ② 地域全体としての一体的な整備・活用
- ③ 国内外への積極的かつ戦略的・効果的な発信



日本遺産認定による効果

「日本遺産」に認定されると、認定された当該地域の認知度が高まるとともに、今後、日本遺産を通じた様々な取り組みを行うことにより、地域住民のアイデンティティの再確認や地域のブランド化等にも貢献し、ひいては地方創生に大いに資するものとなると考えています。

日本遺産ガイドの役割

観光とは何だろう？

自由時間の中で生活の変化を求める人間の基本的な欲求を満たすための行為のうち、日常生活圏を離れて、異なった環境のもとで行われる行動のことをいいます。

人はなぜ旅をするのか？（＝観光動機）

自己拡大	自尊心の向上や自己成長を求める
知識増進	異文化への理解や知識を求める
関係強化	人間関係の拡大や強化を求める
娯楽追求	レクリエーションや楽しみを求める
緊張解消	逃避やリラックスを求める

観光ガイドは、旅行者がこれらの目的を達成し、快適に旅行をしていただくためのサポートやアシストをしながら、旅行者が期待する以上の“地域の魅力”に触れることができるよう、ナビゲートする重要な役割を担っています。

日本遺産ガイドの役割

日本遺産ガイドは、観光ガイド＋物語（ストーリー）を知る・誇りに思う・守る・活かすといった役割も担っています。

日本遺産ガイドに求められること

基 本

日本遺産ストーリーの根幹の共有

構成文化財についての知識の習得

コミュニケーション・
ホスピタリティスキルの向上

ガイド実務の習得

ステップアップ

ガイド経験の蓄積

自分が得意な分野のスキルアップ
（専門性）

引き出しを増やしていく努力
（多様性）

2. 日本遺産ガイドに必要なスキル

コミュニケーション・ホスピタリティ

ストーリーと構成文化財の知識

ガイド実務

ガイド業務の流れ（事前準備、ガイド中、業務終了後）

モデルコースに沿ったガイド実務例

コミュニケーション・ホスピタリティ

ホスピタリティとは何か、考えてみましょう

心からのおもてなし おもいやり 優しさ

「人はなぜ旅をするのか（P.5 参照）」という人間の欲求を追求していくと

“ホスピタリティ”をもってお客様に対応するという行動にたどり着くでしょう。

ホスピタリティにつながる3段階のサービス

第1段階	当然しなければならないサービス
	お客様に支払っていただいたお金の対価として当然しなければいけない行為
第2段階	満足度を高めるサービス
	笑顔で対応する、スピーディに対応する、丁寧に対応するなどお客様に気持ちよく利用・享受していただくための行為
第3段階	要望を超えた感動を与えるサービス
	自分の家族や親しい友人に接する以上の気持ちを込めて、お客様に最善の試みを行うこと

ガイドに必要な技術とマインド

知識・情報 : 歴史・文化・観光地・旬な情報などの豊富な知識

言語 : わかりやすい・聞き取りやすい言葉

プレゼンテーション力 : ユーモアがある・わかりやすい説明

コミュニケーション力 : 話術・雑談力・異文化理解・多様性理解

ツアーマネジメント力 : 時間に正確・上手くまとめる手際よさ

ホスピタリティ : 気配り・心配り・目配り、ニーズに応じた柔軟な対応

第一印象を決めるポイント

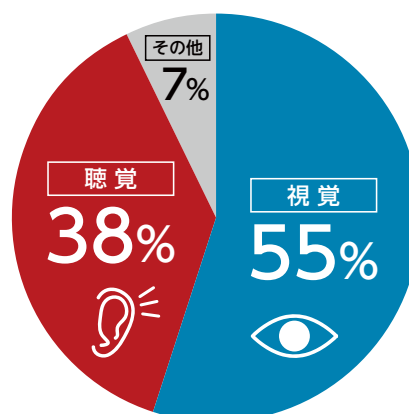
～ 第一印象を決定する要因 ～

メラビアンの法則

55% …… 視覚（表情・態度・身だしなみ）

38% …… 聴覚（声の速さ・大小・口調・質）

7% …… その他（言葉そのもの・内容）



①表情

表情には、顔と声の二つがあります。常に笑顔で接することを心がけましょう。笑顔は、言葉より先に相手に安心感を与えます。声にも表情があり、声の大きさ、テンポ、トーン、抑揚はその人の心や姿勢を相手に伝えるものです。

- ☐ アイコンタクトをとりましょう
- ☐ 口角を上げましょう
- ☐ 笑顔を絶やさず、表情豊かにしましょう
- ☐ 怒りや疲れは見せないようにしましょう
- ☐ 声のトーンにも意識して話しましょう

②身だしなみ

自分の好き嫌いに関係なく、仕事にふさわしい身だしなみを心掛けましょう。

- ☐ 清潔感がありますか…汚れがなく、清潔感が全体的に感じられ、すっきり・さわやか・健康的
- ☐ 上品さがありますか…きちんと着こなし、品位が感じられ、全体のコーディネーションが良い
- ☐ 控え目ですか …高価なものは避け、色・柄・デザインが派手すぎず、邪魔にならない

③言葉づかい

言葉は、つかい方によって、相手の受け取り方、態度が大きく変わります。言葉は、相手や状況に応じて、選んで伝えるように心掛けましょう。お客様のみならず、ガイド同士や乗務員、観光地の施設の方等への言葉づかいにも気を配りましょう。

- ☐ 肯定表現

プラスの言葉

- ・素晴らしいですね（＋微笑む） ・さすがですね（＋うなづく） ・おっしゃるとおりです ・同意見です
- ・お会いするのが楽しみです ・～のおかげです ・助かりました（＋会釈） ・教えてくださいませんか

マイナスの言葉

- ・だめです（眉間にしわ） ・無理です（睨む） ・違います ・嫌いです ・つまらない ・忙しいです
- ・どうせ…たいしたことない ・必要ないです（ため息）

- ☐ クッション言葉

質問する場合	・恐れ入りますが ・失礼いたしますが ・つかぬことを伺いますが
提案する場合	・よろしければ ・（お）差し支えなければ
お願いする場合	・恐れ入りますが ・お手数ですが ・ご足労ですが ・恐縮ですが ・申し訳ございませんが ・ご迷惑でなければ
断る場合	・申し訳ございません ・恐れ入ります ・あいにく ・残念ですが ・ありがたいのですが ・せっかくですが
ねぎらう場合	・お暑い中 ・お寒い中 ・遠いところ ・ご遠方 ・雨の中 ・お足元の悪いところ ・お忙しいところ ・ご足労いただきまして

2 日本遺産ガイドに必要なスキル

□ 依頼文

- ・お待ちください（命令）⇒ ◎お待ちいただけますでしょうか
- ・ありません（否定）⇒ ◎あいにく、こちらだけになっております
- ・できません（否定）⇒ ◎申し訳ございませんが、こちらでしたら可能です

□ あとよし言葉

- ・このお土産は、美味しいけど、高い⇒◎多少お値段は高いが、とても美味しいです
- ・あの人は楽しそうだけど、歩くのが遅い⇒◎多少歩くのに時間がかかるが楽しそうです

ガイドとして気をつけたい言葉遣い、話し方

①相手が理解できない言葉

業界用語、軽薄な流行語、一般的でない外来語、難解な単語、特殊な略語

②自分で気が付かない口癖

「えっと」「つまり」「っていうか」「要は」「逆に」「ちなみに」等の自覚のない口癖

③他人の受け売りにつながる言葉

人の噂話や悪口、自慢話

④差別用語

相手に差別感を与える言葉、ハンディキャップのある人に対する言葉

⑤かぶせるように話す

相手が話し終えるか終えないかのタイミングで、相手の語尾にかぶせるように話し始める

⑥ネガティブな言動

「厳しい」「難しい」「無理かもしれない」等、「できないこと」の方にフォーカスして話す

⑦その他

不愉快な話題につながる言葉、度の過ぎた美辞麗句等

聞き上手のポイント

- ・姿勢良く聞きましょう
- ・相手を見ながら聞きましょう
- ・相づちを打ちながら聞きましょう（+相手の名前を呼ぶなどを取り入れましょう）
- ・復唱をしながら聞きましょう
- ・話の途中で遮らず、タイミングよく質問して情報を集めましょう

姿勢と動作

- ・姿勢を正しくしましょう
- ・動作に区切りをつけましょう
- ・指を揃えましょう
- ・視線の向きに気をつけましょう

ストーリーと構成文化財の知識

ストーリーの概要

古くから日本人の生活に深くかかわり、神秘的なブルーといわれた「藍」。徳島県の北部を雄大に流れる吉野川の流域は、藍染料の日本一の産地です。この地域の平野部に見られる高い石垣と白壁の建物に囲まれた豪農屋敷や脇町の豪華な「うだつ」があがる町並み、「阿波おどり」のリズムからは藍染料の流通を担い、全国を雄飛した藍商人のかつての栄華をうかがい知ることができます。この地域では、今も藍染料が伝統的な技法で生み出されており、その色彩は人々を魅了し続けています。

ストーリー

古くから日本人の生活に深くかかわり、日本を代表する色彩である「藍」。明治時代に日本を訪れた外国人は日本中に「藍」で染められた衣服が溢れていることに驚き、「この国は神秘的なブルーに満ちた国」と絶賛しました。その神秘的なブルーを生みだしていたのが「阿波の北方^{きたかた}」といわれる徳島県北部の吉野川^{よしのがわ}流域です。この地域は日本一の藍染料の産地で、今なお途絶えることなく職人が伝統の技で藍の染料づくりを行い、日本の染織文化を支え続けている藍のふるさとです。

◆藍の里の景観と風土

徳島県北部を東西に流れる吉野川の流域では、平野部に広がる田園風景の中に、高い石垣でかさ上げされた大きな屋敷があちこちに見られます。本瓦葺きで白壁の重厚な建物^{じゅうこう}に囲まれ、さながら城を思わせるこの屋敷は「藍屋敷^{あいやしき}」と呼ばれこの地域^{しやうちやう}を象徴します。「藍屋敷」は江戸時代から明治時代にかけて藍染料の生産・加工・流通を担った藍師^{あいし}や藍商人^{あいしやうにん}の住居兼生業、商談の場であり、ここから多くの藍染料が日本中に送り出されました。暴れ川であった吉野川からは当時の灌漑技術^{かんがい}では直接水を取ることは難しく、流域では稲作がほとんどできませんでした。また、たびたび起こる洪水は流域の人々に甚大な被害を与えました。しかしその反面、豊富な伏流水^{ふくりゅうすい}に恵まれ洪水によって肥沃な土壌^{ひよく どじやう}がもたらされるこの地域は、藍の栽培に適した土地柄だったのです。

平安時代の終わりに阿波で栽培が始まった藍は、室町時代にはこの地域の特産となり、室町時代後半に勝瑞城^{しょうずい}下で藍染料に加工されるようになったといわれています。江戸時代に入ると、徳島藩は重要な財源として藍の生産を保護・奨励し、積極的に品質向上にも努めました。江戸時代の中頃には、全国的な木綿の普及に伴い藍染料が大量生産されるようになりました。さらに、犬伏久助^{いぬふしきゆうすけ}が加工技術を改良したことにより、品質が高まった阿波の藍染料は「本藍」と呼ばれ全国市場での人気を独占し、販売特権を与えられた阿波の藍商人は、莫大^{ばくだい}な利益を藩にもたらしたのです。阿波の藍師や藍商人たちは、藍染料の買付けに来る全国各地の商人たちを最大限にもてなし、信用を得るために競って豪壮な屋敷を構え、接待に多くの金を使いました。立派な「藍屋敷」があちこちに見られるのは、こうした歴史的背景によるものです。これらの屋敷地には軒が大きく張り出した特徴的な形をした「寝床^{ねどこ}」といわれる藍染料の加工場が今も残っています。軒下には刈り取った藍の葉が運び込まれたり、洪水のときの脱出用の舟が吊り下げられたりしています。功罪相半ばする吉野川の流域で藍染料づくりの技術を受け継いできた藍のふるさとの風景です。功罪相半ば^{こうざいあいなか}

2 日本遺産ガイドに必要なスキル

◆藍染料、「^{すくも}染」づくりの技

阿波の北方では、江戸時代から変わることのない伝統的な藍染料づくりを今も見ることができます。初春、ツバメが来る頃に^{なえどこ}苗床に種を播き、霜が降りなくなると畑に苗を植えます。そして梅雨が明ける頃には緑一色に染まった藍畑が一面に広がります。初夏に収穫した藍の葉を細かく刻み、乾燥させ、発酵させることで藍の染料が出来上がります。加工場である「寝床」では、積み上げられた藍の葉に水を打ち、攪拌し、発酵を促す作業が秋から冬にかけて何度も繰り返されます。そこには全身全霊をかけて、美しい色を出す藍染料を作る職人の姿があります。

藍の葉の発酵温度はやがて60度を超え、作業中の寝床の中はもうもうと湯気がたちこめ、暖かい空気と刺激的な発酵臭が充満します。その温度と臭いは藍染料の仕上がりを知るバロメーターとなります。そして、初霜が降りる頃、藍師の手仕事によって発酵が進んだ藍の葉は、黒い土の塊のような姿になり、藍の色素が凝縮された「^{すくも}染」と呼ばれる藍の染料が出来上がるのです。

◆阿波藍の流通と繁栄

阿波の藍師が手塩にかけてつくり上げた藍染料は、徳島藩から販売権を容認された藍商人を通して、大阪・名古屋・江戸をはじめとする全国の藍市場に供給されました。それにあわせ、阿波の藍商人の活躍もまた全国規模で展開されるようになりました。藍商人たちは富を得るだけでなく、全国各地との文化交流の担い手となりました。徳島城下の盆踊りに上方で流行していた^{にわか}俄踊りが登場するようになったのははじめ、今の阿波おどりに各地の様々な要素が取り入れられています。例えば『阿波よしの節』は茨城県の『^{いたこふし}潮来節』が元になっているともいわれ、そこには全国に雄飛した阿波の藍商人の姿を感じることができます。

また、芸事を好み、金銭を惜しかなかった阿波の藍商人が頻繁に人形座を招いて人形芝居を楽しんだことから「阿波人形浄瑠璃」などの木偶文化が隆盛しました。今でも年明けには箱回し芸人による「三番叟まわし」が藍屋敷を訪ねて門付けを行っています。

藍の流通を担った脇町には、藍豪商が築いた「うだつの町並み」が残ります。本来防火のために作られた「うだつ」は、富を競うかのように本瓦葺の重厚な装飾がなされ、そのてっぺんでは鬼面の瓦が睨みをきかせています。格子づくりや^{しとみど}蔀戸、^{むしこまど}虫籠窓などの意匠が美しいうだつの上がつた町並みや、敷地内に船着き場までつくられた豪商の屋敷をみると、藍の集散地として栄えた当時の栄華を誇る暮らしぶりがうかがわれます。そして、年の暮には^{あいけいき}藍景気を唄う「三味線もちつき」の軽快なリズムが当時の賑わいを伝えていきます。

伝統の技によってつくられる良質の「^{すくも}染」は、今も全国各地の染織家のもとに届けられ、多くの衣装が彩られています。かつて訪日外国人を魅了した「藍」の色は、東京オリンピック・パラリンピックの大会エンブレムを彩り、日本の伝統色として今また世界に発信されていきます。



徳島市



あわにんぎょうじょうるり
阿波人形浄瑠璃

国指定 重要無形民俗

莫大な富を得た藍商人が庶民の娯楽として定着させた徳島を代表する民俗芸能。



あわ あい ちゅうせん
阿波藍の注染

県指定無形

紺屋古庄は、阿波藍の注染を行う全国唯一の紺屋。天然染料ならではの阿波藍の魅力を発信する。



あわ で こ さんばそう
阿波木偶「三番叟まわし」

県指定 無形民俗

人形を箱に入れて担ぎ、家々を回って門付けを行う。藍寝床では、良質な藍染料ができることを願い、箱回し芸人が「三番叟」を踏む。



とくしまじょうあと およ とくしまじょうかまちあと
徳島城跡及び徳島城下町跡

国史跡(徳島城跡)

公開

阿波藍の流通拠点として栄えた城下町と、阿波藍を奨励した蜂須賀氏の政治拠点。

周辺の観光スポット

徳島県立阿波十郎兵衛屋敷（住所：徳島市川内町宮島本浦 184 TEL：088-665-2202）



阿波人形浄瑠璃の定期公演（毎日）、各種イベント等を開催。

入館料：大人 410 円 高・大学生 310 円 小・中学生 200 円※団体割引有
営業時間：9 時 30 分～17 時 00 分※（7/1～8/31 は 18 時 00 分まで）
休館日：年末年始（12/31～1/3）

阿波おどり会館（住所：徳島市新町橋 2 丁目 20 番地 TEL：088-611-1611）



阿波おどりの観覧、阿波おどりの歴史や文化を学べるミュージアム、ワークショップや体験型イベント等を楽しめる施設。1 階の徳島県物産観光交流プラザ「あるで徳島」では藍染めやすだち、鳴門金時の菓子など、徳島県の工芸品や特産品を販売。

入館料：阿波おどりミュージアム 一般 300 円 中学生以下無料
専属連による阿波おどり観覧：大人 800 円 小・中学生 400 円
有名連による阿波おどり観覧：大人 1,000 円 小・中学生 500 円
営業時間：阿波おどりミュージアム 9 時 00 分～17 時 00 分
あるで徳島・阿波おどりホール（公演時間による）9 時 00 分～21 時 00 分

原田家住宅蜂須賀桜（住所：徳島市かちどき橋 3-43）



ハチスカザクラはソメイヨシノよりも 1 ヶ月ほど早く咲き、花の色は少し濃いピンク色で、人気の高い河津桜と似た特徴を持つ。江戸時代、徳島城で咲いていたことから、徳島藩主であった蜂須賀氏からハチスカザクラと名付けられた。その後、明治時代初期に蜂須賀氏が家臣の原田家当主に譲ったという歴史があり、現在は原田家住宅の庭で、樹齢約 250 年を誇る巨大なハチスカザクラの木を見ることができる。原田家住宅は普段閉まっているが、桜が見ごろになる週末に一般開放される。



徳島中央公園（住所：徳島市徳島町城内 1 番外）

徳島城跡に開設された江戸時代の遺跡を活かした公園。徳島市中心街地にあり、広大な敷地内には旧徳島城表御殿庭園、徳島城博物館、バラ園、流れ池等、見どころが多い。



金刀比羅神社の石灯籠（住所：徳島市勢見町 1）

「勢見のこんぴらさん」として親しまれる金刀比羅神社の参道には、藍商が寄進した大灯籠がそびえる。高さ約 10 メートルで石灯籠では日本最大級。

吉野川市



周辺の観光スポット

旧吉野川遊園地（住所：吉野川市鴨島町知恵島字西知恵島 120 ※現在は吉野川医療センター）

徳島県内初の本格的な遊園地で、前身である「江川遊園地」は藍師兼藍商人の工藤家の工藤鷹助氏が私財を投じて1931年（昭和6年）創業。乗り物はボートだけだったが、娯楽の少ない当時は県内でも有数の観光施設だった。1969年（昭和44年）に開催された四国博覧会を機に名称は吉野川遊園地に変更され、ジェットコースターや観覧車、ゴーカートといった遊具施設が作られたが、2011年（平成23年）8月31日をもって閉園した。

阿波和紙伝統産業会館（住所：吉野川市山川町川東 141 TEL：0883-42-6120）



1300年の伝統を誇る阿波和紙の手漉き実演や国内外の和紙アーティスト作品の見学が可能。

入館料：大人 300 円 学生 200 円 小人 150 円

営業時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分

休業日：毎週月曜日（祝祭日の場合は火曜日）紙漉き体験 500 円～ ※要事前予約

岩の鼻展望台（住所：吉野川市川島町川島字城山）



阿波九城のひとつに数えられた川島城が築かれていた城山一帯を整備した川島公園内にある展望台。四国八十八景選定。展望台からは吉野川や善入寺島が望める。



やまかわちょう す わ あいやしき
山川町諏訪の藍屋敷

未指定(建造物)

非公開 ※山川町諏訪の藍屋敷には現在、住民が生活しているので、訪れる際は敷地内に入らないようにしてください

藍師兼藍商の屋敷で、「藍屋敷」と呼ばれる豪壮な民家の代表例。県内でも最大規模の寝床をもつ。

所在地：吉野川市山川町諏訪



くどうけじゅうたく ちゅうしん
**工藤家住宅を中心とした
藍関連文化財群**

一部市指定有形文化財

(西麻植八幡神社の陶製狛犬、両部鳥居、太鼓橋)

西麻植八幡神社の陶製狛犬、両部鳥居、太鼓橋は公開

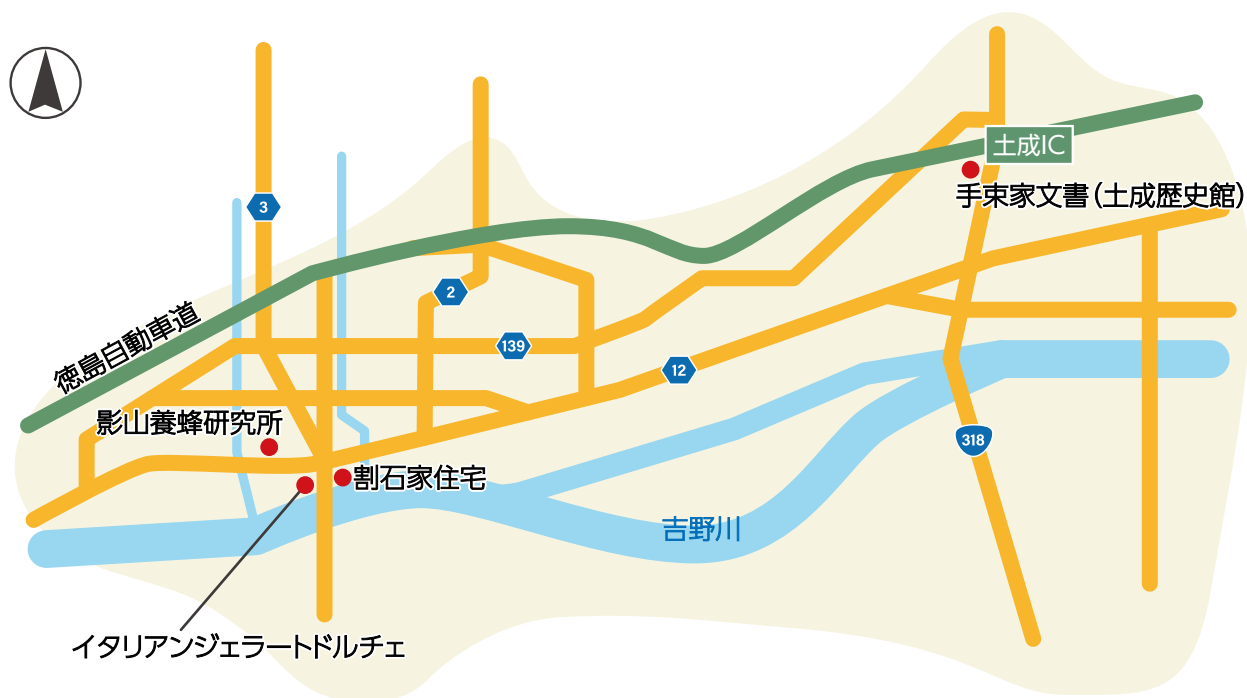
工藤家住宅は非公開

※工藤家住宅には現在、住民が生活しているので、訪れる際は敷地内に入らないようにしてください。

藍師兼藍商人として活躍した工藤家の屋敷と、工藤家が信仰し、多額の寄付をした西麻植八幡神社。また工藤家が染や肥料を運搬するため設置した屋敷北面の西麻植駅。藍師や藍商人の活躍がうかがわれる西麻植地区の文化財群。

所在地：吉野川市鴨島町西麻植字檀ノ原 155-1 (西麻植八幡神社)

阿波市



周辺の観光スポット

イタリアンジェラートドルチェ (住所：阿波市阿波町大道北 190-1 TEL：0883-35-3912)



“毎朝手作り”にこだわるジェラート専門店。素材には隣町の牧場で絞られた新鮮な牛乳、地元農家が心を込めて育てた旬の野菜や果物などが使われている。店内では徳島にゆかりのある 30 名の手作り作家さんの雑貨等を展示販売している。

営業時間：10 時 00 分～19 時 00 分 (4～9 月) 10 時 00 分～18 時 30 分 (10～3 月)
定休日：火曜日 (祝日の場合は翌日)

影山養蜂研究所 (住所：阿波市阿波町大道北 18 TEL：0883-35-2228)



Kageyama Honey Bee Labo

阿波市の『特産認証品』純粋はちみつを使った影山ハニーロールが人気。はちみつしぼり体験 (5 月中旬～10 月初旬) も実施している。

営業時間：10 時 00 分～17 時 00 分
定休日：なし ※留守の場合があるので要事前連絡



わりいしけじゅうたく
割石家住宅

未指定(建造物)

非公開 ※割石家住宅には現在、住民が生活しているので、訪れる際は敷地内に入らないようにしてください。

藍師兼藍商人として活躍した割石家の屋敷で、「藍屋敷」と呼ばれる豪壮な民家の代表例。近代和風住宅。

所在地：徳島県阿波市阿波町元町 24-1

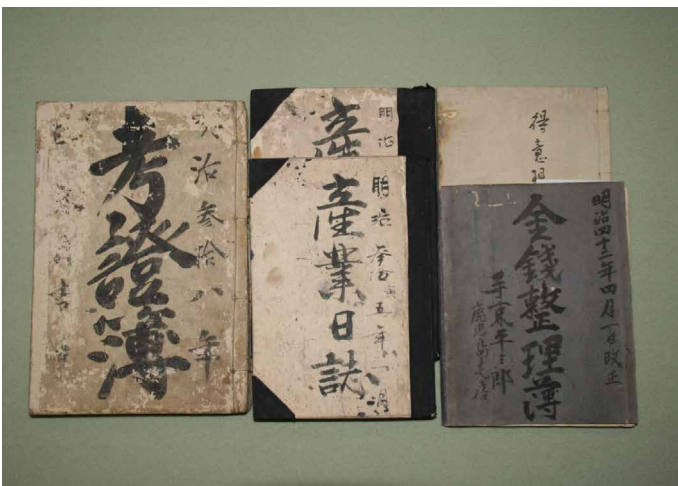


けんぽんちゃくしよくのうこうず らんでんかんすいのず
絹本著色農耕図「藍田灌水之図」

市指定有形(絵画)

非公開

藍田への灌水作業が描かれた農耕図。阿波藍最盛期の景観が窺い知られる



てづかけもんじょ
手束家文書

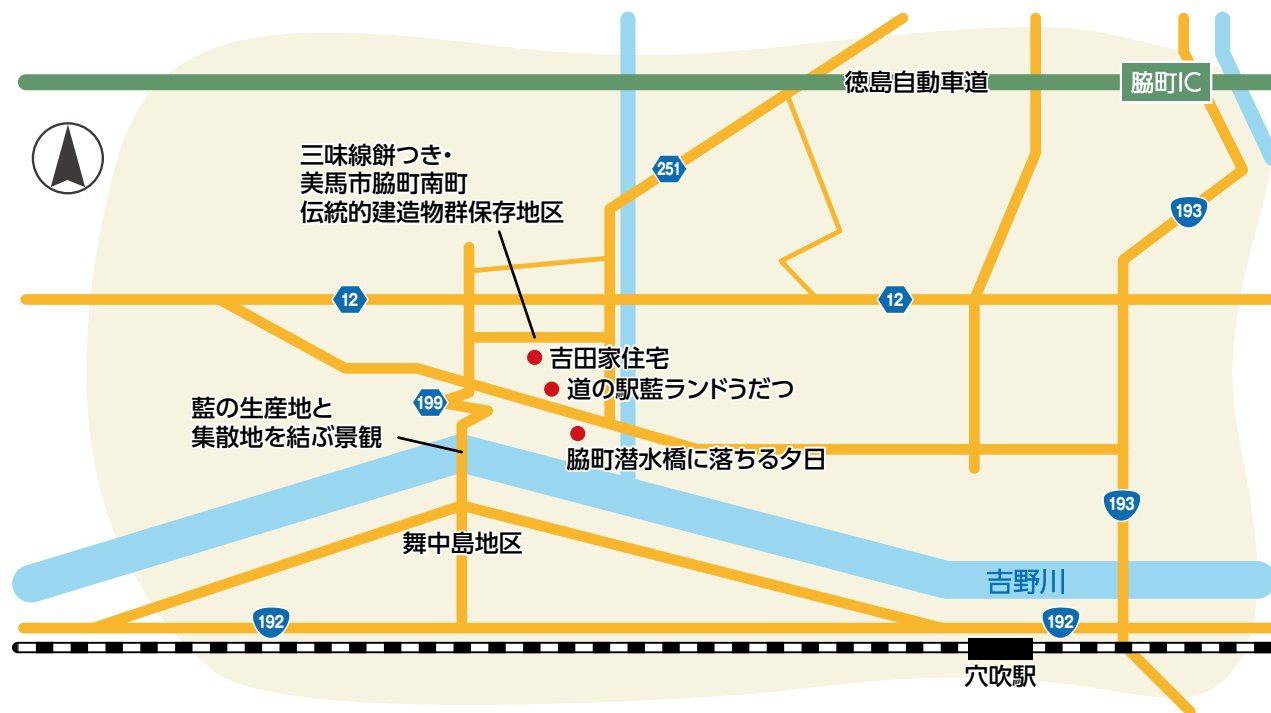
未指定(古文書)

土成歴史館にて公開

大地主として、また藍商人とし活躍した手束家の明治 30 年頃から大正時代にかけての経営資料。

所在地：阿波市土成町土成字丸山 46 番地 1

美馬市



よしだけじゅうたく 吉田家住宅

市指定有形(建造物)

公開

寛政4(1792)年に創業した、藍商吉田家の屋敷。屋号を「佐直」と称し、脇町でも1、2を争った藍商。

所在地：美馬市脇町大字脇町53

料金：大人510円 小人250円 ※団体割引有

TEL：0883-53-0960

休業日：年末年始(12/27～1/1)

周辺の観光スポット

脇町潜水橋に落ちる夕日(所在地：美馬市脇町大字脇町～穴吹町三島舞中島 間)



美馬市脇町の中心部と、吉野川対岸の美馬市穴吹町三島をつなぐ脇町潜水橋。特に脇町側の土手は、地元では有名な夕日のビューポイントになっている。吉野川は、河川勾配が急なため、降った雨は短時間で氾濫する危険性があり、江戸時代には2年に一度のペースで洪水が起きていた。川に橋を架けても流されてしまうため、大雨のときには水没して流出を防ぐ潜水橋(沈下橋)が考案された。三大河(日本三大暴れ川)のひとつ四国三郎・吉野川ならではの対策。



まい なかしまちく
舞中島地区

未指定(文化的景観)

外観のみ公開

吉野川の川中島で、藍の一大産地。各所に残る豪華な住居が当時の繁栄ぶりをうかがわせる。

所在地：美馬市穴吹町三島字舞中島

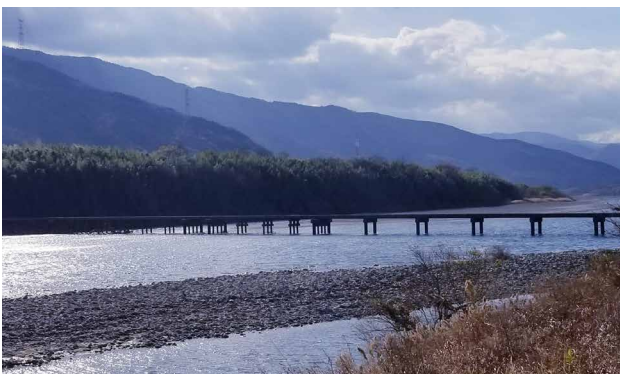


みましわきまちみなみまちでんとうてきけんぞうぶつぐんほぞんちく
美馬市脇町南町伝統的建造物群保存地区

国選定 重要伝統的建造物群保存地区

公開

江戸時代中期、藍の集散地として栄えた町並み。町並みの象徴であるうだつからは、当時の繁栄がうかがえる。



あい せいさんち しゅうさんち むす けいかん
藍の生産地と集散地を結ぶ景観

未指定(文化的景観)

吉野川をはさんで、舞中島と脇町南町を結ぶ、藍の生産から流通までの過程を彷彿とさせる景観。



しゃみせんもち
三味線餅つき

市指定 無形民俗

阿波藍で栄えた頃、豪商たちが芸子たちに三味線をひかせ餅つきをしたのが始まり。

道の駅藍ランドうだつ (住所：美馬市脇町大字脇町 55 TEL：0883-53-2333)



重要伝統的建造物群保存地区うだつの町並みに隣接した道の駅。

営業時間：9 時 00 分～17 時 30 分
休業日：12/27～1/1

石井町



たなかけじゅうたく
田中家住宅

国重文(建造物)

公開

藍師兼藍商人として活躍した田中家の屋敷で、「藍屋敷」と呼ばれる豪壮な民家の代表例。県下最大級の規模。

所在地：名西郡石井町藍畑高畑 705

料金：大人 500 円（ガイドなし 300 円）

小人（小学生以下）200 円（ガイドなし無料）

見学：日曜日・祝日のみ ※要予約制

TEL：088-674-0707

駐車場：有

周辺の観光スポット

五社神社と藍玉一揆騒動（住所：名西郡石井町高原東高原 411）

徳島藩は藍作を奨励したが、多くの利益を生む藍の統制を次第に強めていった。藍作税の強化によって困窮した吉野川中・下流の藍作人は、藩への反感から一揆（藍玉一揆と呼ばれる）を計画するが、直前に藩の知るところとなり、首謀者とされた 5 人が磔刑にされた。処刑当日は数万の人々が集まり、その壮烈な最後に涙を流して悲しみ、後に五社明神として祀ったといわれている。



たけちけじゅうたく
武知家住宅

国重文(建造物)

非公開 ※武知家住宅には現在、住民が生活しているので、訪れる際は敷地内に入らないようにしてください。

藍師兼藍商人として活躍した武知家の屋敷で、「藍屋敷」と呼ばれる豪壮な民家の代表例。大規模な寝床が特徴的。

所在地：名西郡石井町高川原天神 133



あいのうこうさくの
**藍農工作之
ふうけいりやくず
風景略図**

未指定(絵画)

非公開

藍づくりの工程を描いた昭和初期の絵巻物。

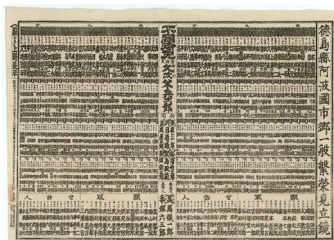


もときけもんじょ
**元木家文書
かどやにつき
「加登屋日記」**

町指定有形(古文書)

非公開

藍商人である元木家当主が3代にわたり、商売ほか時事などについて記した日記。



たけちけもんじょ
武知家文書

未指定(古文書)

非公開

藍商人である武知家に伝わる商売などについて記された古文書群。



はやしけもんじょ
林家文書

一部町指定(古文書)

非公開

藍商人である林家に伝わる商売などについて記された古文書群。



たかはしけもんじょ
高橋家文書

未指定(古文書)

非公開

藍商人である高橋家に伝わる商売などについて記された古文書群。

阿波食ミュージアム（住所：名西郡石井町高原字中須 154 TEL：088-677-7831）



徳島の新鮮野菜の産直市場で、加工食品やお土産品も販売。その日の旬の食材を使用した料理が食べられる「旬彩食堂」と、旬の果物が味わえるガーデンスイーツ店「FLUTTA」が併設。

営業時間：8時30分～18時00分 ※旬菜食堂 9時00分～17時00分
定休日：年始

北島町



周辺の観光スポット

北島チューリップ公園 (住所：板野郡北島町中村字日開野 TEL：088-698-9806 (まちみらい課))



毎年地元のボランティアの約70品種・約5万本のチューリップが植栽されている。また敷地隣にはログハウス調の休憩室があり、見晴らし台から園内を一望できる。

見ごろ：4月上旬～下旬 ※ただし花が終わり次第終了
営業時間：9時00分～17時00分
定休日：4月の開園期間中は無休



きたじまちょうしょぞう あいかんれんもんじょ
北島町所蔵 藍関連文書

未指定(古文書)

北島町立図書館・創世ホールにて一部公開

阿波藍の製造、販売、流通経路、品質に関する資料や、葉藍生産状況を知ることのできる資料がある。

所在地：板野郡北島町新喜来字南古田 91

開館時間：10 時 00 分～18 時 00 分

休館日：月曜日（休日の場合は翌日も休館）、毎月第 3 木曜日（図書館のみ）、国民の祝日（日曜日の場合は開館し月・火曜日を休館）、年末年始 特別整理期間（図書館のみ 10 日間）



ふじたけじゅうたく
藤田家住宅

未指定(建造物)

外観のみ公開

明治・大正時代に「青屋」の屋号を持っていた藤田家の屋敷。近代和風住宅。

所在地：板野郡北島町新喜来字南古田 57



光蓮寺の夢告げ地蔵（住所：板野郡北島町新喜来南古田 67）

この地蔵尊は、台座共一石造りで、蓮弁立体感があり、よい面相をしている。これだけの立派な刻技は、かなりの達人で、それを造った年代も相当古いものと考えられている。名前の由来は、豪雨による旧吉野川の増水のため流されそうになったお地蔵さまが、霊力を使って自分の身上を村人の夢の中で伝え、その重い身体を現在の安置場所まで移動させたという伝説からきている。

藍住町



しょうずいじょうかんあとおよ しゅごまちしょうずいせき 勝瑞城館跡及び守護町勝瑞遺跡

国史跡(勝瑞城館跡)

公開

藍製造の技術が伝えられたとされる地であり、藍が阿波の経済基盤として発展する契機となった地。

所在地：板野郡藍住町勝瑞東勝地

駐車場：有

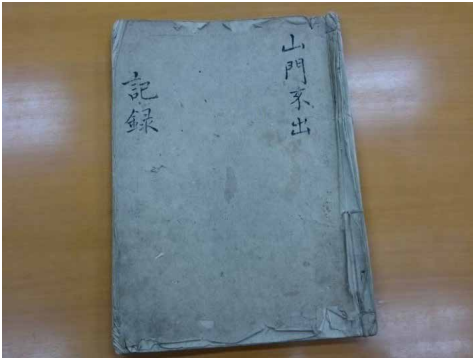
周辺の観光スポット

藍住町バラ園 (住所：板野郡藍住町矢上字原 263-88)



正法寺川湖畔に広がるバラ園。300 品種約 1100 本のバラが植栽されており、種類・数とも県下一。

見ごろ：5 月上旬～中旬と 10 月下旬
営業時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分



けんしょうじもんじょ
見性寺文書

町指定有形(古文書)

公開 ※藍住町教育委員会へ要申請

鎌倉時代に「染葉」が植えられたことが記録されている。



おくむらけじゅうたく
奥村家住宅

県指定有形(建造物)

藍の館参照

藍師兼藍商人として活躍した奥村家の屋敷で、「藍屋敷」と呼ばれる豪壮な民家の代表例。



おくむらけもんじょ
奥村家文書

町指定有形(古文書)

藍の館にて一部公開 ※藍住町教育委員会へ要申請

藍師兼藍商人として活躍した奥村家の経営史料。
藍商人の経営の実態に迫る史料。



あわあいさいばいかこうようぐいっしき
阿波藍栽培加工用具一式

国指定 重要有形民俗

藍の館にて公開

藍草を栽培し、藍染料を製造・加工するための道具一式。

藍の館（住所：板野郡藍住町徳命字前須西 172 TEL：088-692-6317）



1987年に大藍商であった旧奥村家の屋敷を11代当主である奥村武夫氏が藍住町に寄付し、1996年に藍の館として開館。奥村家文書や藍に関する民俗資料などが展示されている。このうち、阿波藍の栽培加工に関する資料が「阿波藍栽培加工用具」の名称で国の重要有形民俗文化財に指定されている。また館内の東寝床では実際に藍染めを体験することができる。

入館料：大人 300 円 中高生 200 円 小学生 150 円 ※団体割引有、藍染体験 500 円～
営業時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分 ※藍染体験は 16 時 00 分まで
定休日：毎週火曜日（祝日の場合は営業）年末年始（12/28～1/1）

板野町





あいぜんあん いぬぶしきゅうすけぞう
藍染庵と犬伏久助像

町指定有形(彫刻)

外観のみ見学可、犬伏久助像は非公開

藍染料の製法の改良に成功し、阿波藍の発展に多大な貢献をした犬伏久助。「藍久さん」の愛称で親しまれていた久助の木像が藍染庵に安置されている。

所在地：板野郡板野町松谷山ノ内奥1

周辺の観光スポット

フジムラベーカリー（住所：板野郡板野町黒谷字中通 27 TEL：088-672-2461）



クリームパンはすぐに売り切れるほど人気。

営業時間：9時00分～ ※売り切れ次第終了
定休日：毎週日曜日・月曜日 ※臨時休業有

第5番札所 地藏寺（住所：板野郡板野町羅漢字林東 5 TEL：088-672-4111）



嵯峨天皇（在位 809～23）の勅願により、弘仁 12 年（821）弘法大師が自ら 1 寸 8 分（約 5.5cm）の勝軍地藏菩薩を刻み、本尊として開創。源義経、蜂須賀公など武将からの信仰も厚かったと伝えられている。離れにある奥の院「五百羅漢」や樹齢 800 年を超える「たらちね大銀杏」も見どころ。

上板町



あわあいせいぞう 阿波藍製造

国選定 保存技術

伝統的な藍染料の製造技術。

徳島市・石井町・上板町に所在する藍師が伝統の技術を受け継ぐ。

周辺の観光スポット

技の館（住所：板野郡上板町泉谷字原東 32-4 TEL：088-637-6555）



藍染めが気軽に体験できる施設。施設内には藍染めに関する展示室や完全制御型 LED 植物工場があり見学できる。

営業時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分※藍染体験の受付は 15 時 30 分まで

定休日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12/29～1/3）

毎月第一日曜日に開催されるわらあい市（主催：一般社団法人ジャパンプルー上板）ではピザ焼き、火おこし体験、新鮮野菜の販売、うどんやから揚げなどの軽食販売が行われ、地元の人々で賑わう

岡田製糖所（住所：板野郡上板町泉谷字原中筋 12-1 TEL：088-694-2020）



200 年以上手作りの製法を守り続け、つなぎや着色料も使用せず和三盆糖のみで干菓子を作っている。和三盆糖は、徳島と香川県の一部で現在も栽培されている在来品種である「竹糖」と呼ばれるサトウキビを原材料とした、数少ない国内産の砂糖で、徳島県側で採れたものを阿波和三盆糖と呼ぶ。

定休日：土曜日 日曜日 祝日

営業時間：9 時 00 分～ 17 時 00 分（12 時 00 分～ 13 時 00 分除く）

複数市町



徳島市・吉野川市・美馬市

あわ 阿波踊り

未指定(無形)

全国を雄飛した藍商人によって洗練されたものに育てあげられた徳島を代表する民俗芸能。



徳島市・吉野川市・阿波市・美馬市・ 石井町・北島町・藍住町・板野町・上板町

あくはっこうだてあいぞめ 灰汁発酵建藍染

未指定(無形)

阿波藍を灰汁やふすま、酒、石灰や貝灰などの天然の素材によって発酵させて建てた藍液による染めの技術。

ガイド実務

ガイド業務の流れ（事前準備、ガイド中、業務終了後）

スタンバイ	・ 集合時間の 30 分前には受付準備 ・ お手洗いや喫煙所、自動販売機、コインロッカー、椅子等の場所の確認
受付・誘導	・ お客様の名前と人数を確認 ・ 事前集金の場合は集金し、領収書をお渡しする ・ 人数の変更がある場合は、予約施設に人数変更の連絡を入れる お客様がいない場合（ノーショウ）： 周辺を探し、見つからない場合は当日の連絡先に電話を入れ、キャンセルや遅刻、迷子等でないか確認しましょう。 お客様が多い場合（ゴーショウ）： 参加者名簿にないお客様が受付に来られることがあります。慌てずに予約メールや予約票を見せてもらい、予約を確認しましょう。
出発	・ 出発前に必ず人数確認（乗降時や施設入場時など定期的に確認） ・ あいさつとスケジュールの確認 ・ ツアー中の注意事項の案内 貴重品管理、貸切バスの場合は走行中のシートベルト着用、感染症対策へのご協力等
休憩	・ 1 時間～1 時間 30 分に 1 回休憩を 10 分～15 分入れる
観光・見学	・ 入館料や体験料がガイドツアー料金に含まれる場合は、ガイドが入館手続き等を行う。含まれない場合は、お客様に入館手続き等を行っていただく ・ 写真撮影不可の場所があれば案内 ・ ガイディングを行い、お手洗いを済ませていただいて集合し、人数を確認して次の目的地に向かう
食事・買い物	・ 食事場所についたら、食事会場、食事の数と内容を確認する ・ 席へ誘導する ・ 別途有料の飲み物、追加料理の注文と精算をお願いする ・ 自由時間にする前に、集合場所と集合時刻をしっかりと伝える
帰着	・ 参加のお礼と、ツアーが円滑に進むようご協力をいただいたことに感謝の気持ちを伝え、お別れの挨拶をする ・ 忘れ物がないか最終確認 ・ 精算や報告業務があれば必要に応じて行う

モデルコースに沿ったガイド実務例

《コースのストーリー》

- ・勝瑞城館跡及び守護町勝瑞遺跡 … 阿波藍染料製造の発祥の地だと考えられている
- ・藍染庵と犬伏久助像 …… 犬伏久助が改良を加えたことで、徳島の藍染料製造の発展につながった
- ・北島町所蔵 藍関連文書 …… 藍の製造や販売、流通に関する文書等が残されており、その実態がうかがい知られる

■…実務 ■…POINT

勝瑞城館跡及び守護町勝瑞遺跡	
到着時の業務	■パンフレット等の配布 ■概要及び見学の流れ（お手洗い含む）の説明 ■駐車場所や乗降場所の確認
ガイディング キーワード	■勝瑞城館跡はいわば『室町時代の阿波の県庁』 室町時代、阿波守護（今でいう知事や県警の本部長などの役目）であった細川氏がいた場所であり、歴史の中心であった場所。 ■勝瑞城館跡の特徴『戦争への備えがほとんどない』 お城といえば石垣や天守閣、お濠のイメージがあり、敵から攻め込まれないよう防御機能を備えているはずだが、徳島県内のお城のほとんどが防御機能を備えていない。なぜなら、徳島の戦国時代はとても平和で、戦国時代の始まりである応仁の乱以降もほとんど国が乱れず、戦争をしないため戦争に対する備えが必要なかった。勝瑞城館跡は暴れ川である吉野川下流域の低湿地に位置しているため、吉野川の氾濫等の自然災害から身を守る治水を目的にお濠で囲み、堀った土を盛り土にしその上に建物を建てる等の特徴がみられる。 ■勝瑞は『阿波藍製造発祥の地』と言われている ・室町時代の中頃には、徳島県は藍の一大産地であり、染物も行われていた記録が残っている。（参考：文安2年（1445）『兵庫北関入船納帳』、長享元年（1487）『大麻宮建立之次第』等） ・細川氏の元家臣であり勝瑞の紺屋又三郎（別名：二鬼島道智 / 仁木義治）の著書「みよしき」に、天文10年（1541）あをや四郎兵衛が上方（京都周辺の近畿地方）から藍染を伝えたと書かれており、すでに室町時代から徳島県で藍の製造や藍染が行われていたにも関わらず、わざわざこのような記載があることから、この年に藍染に関する何らかの技術革新があった可能性があると考えられている。 ・安土桃山時代のはじめ、紺屋又三郎が阿波国内の紺屋司に任命されたことから、勝瑞で藍染が盛んだったと考えられる。（天正14年（1584）12月9日『呉服屋文書 蜂須賀家政判物』等）

2 日本遺産ガイドに必要なスキル



藍染庵と犬伏久助像	
到着時の業務	■ 概要及び見学の流れの説明 ■ 普段公開されていない場所である説明 ■ 駐車場所や乗降場所の確認
ガイディング キーワード	■ 板野町はかつて『良質な藍の生産地として有名』だった 吉野川の北岸にある板野町は、現在藍作は行われていないが、かつて藍の上どころのひとつとして栄えていた。 ■ 犬伏久助の功績①『藍染料の製造法の改良に尽力』 犬伏久助は板野町に生まれ、藍の栽培製造を営んでおり、藍久さんと呼ばれ親しまれていた。当時の藍染料は形が悪かったり、輸送中に変形や腐敗したりと品質が安定しなかったため、久助は藍染料の製造法の改良に取り組み、天明元年（1781）に成功。安定して良質な藍染料が製造できるようになり、品質の高まった阿波の藍染料は「本藍」と呼ばれ全国にその名声が鳴り響くことになった。 ■ 犬伏久助の功績②『改良した製造法を広く普及させた』 久助は新しい製造法を自分だけで独占せず、弟子を育て、遠方にも教えに行くなど、普及に尽くした。弟子たちが久助の功績を後の世にも伝えたいと思い、久助の木像をつくり現在の藍染庵に安置した。 ■ 藍染庵は『藍商や藍農家たちの信仰の対象』 藍染庵は、もともと愛染明王を祀っていたことから「愛染庵」と呼ばれていた。藍の葉を供えると良質な藍がとれると藍商や藍農家が信仰していたため、久助の木像が愛染庵に安置されることになった。その後愛染明王と久助の愛称である藍久さんが混ざり、久助のことを「愛染様」と呼ぶ人もおり、いつの頃からか「愛染庵」から「藍染庵」と呼ばれるようになった。藍染料の改良により莫大な利益を上げた藍商達は、感謝と謝恩のため、各地から藍染庵へ参拝に訪れていた。

北島町所蔵 藍関連文書	
到着時の業務	■概要及び見学の流れ（お手洗い含む）の説明 ■図書館であるため、静かに見学するよう説明
ガイディング キーワード	■北島町立図書館・創世ホールについて 博物館クラスの展示ケース・所蔵庫があり、北島町の郷土史家、三木安平氏から寄贈された古文書のうち、藍に関連する古文書の調査・公開がされている。 ■北島町の古文書は『襖や屏風から発見されたお宝』 もともと造園業を営んでいた三木安平氏は「襖の中から国宝級の絵画発見」という新聞記事を目にして、実際に、納屋にしまいこんだ古い襖約 20 枚をはがしてみたところ、明治初期の通帳や浄瑠璃本、江戸末期の古文書等を発見した。 襖の表面には襖紙や絵画、書などが張られているが、下地骨と呼ばれる木枠と表面との間には、襖を補強するために、何層もの紙が張り重ねられている。特に紙が貴重であった昔の古い襖や屏風には、不要とされた和紙・文書（反古紙）を張り重ね、仕立てや張り替えをおこなっていた。当時は特に価値のなかった反古紙であっても、現在の私たちにとっては、当時の人々の暮らしぶりや地域の様子を明らかにする上で貴重な史料（古文書）となる。 これはきっと歴史解明の役に立てると直感した三木氏は古文書の収集を始めた。三木氏は古文書を水につけて 1 枚ずつ丁寧に剥がし乾かし、30 ～ 50 枚の古文書を 1 つの封筒にまとめた。そして 3,000 近い封筒を、平成 24 年に北島町に寄贈した。 寄贈された文書のうち、阿波藍の栽培・染（すくも）の生産・売買、品質、県外との流通を記録した資料が、北島町所蔵 藍関連古文書として日本遺産の構成文化財に認定されている。

3. インバウンド対応

インバウンド対応基礎

基本のおもてなしフレーズ

日本遺産ガイド頻出単語

指さしガイドツール

インバウンド対応基礎

インバウンド対応の心得

1. 一番大切なのは「おもてなしの心」

言葉や文化の違う国を旅することは楽しい反面、不安で疲れやすいものです。
たとえ言葉が通じなくても、訪れてくれたお客様を思いやり、笑顔でお迎えしましょう。

2. しっかりしたアイコンタクトと笑顔で挨拶

アイコンタクトに慣れている外国人のお客様は、こちらの不安や差別的な視線にすぐに気づいてしまいます。自信を持っていつもより大きな笑顔で目を合わせて挨拶をしましょう。

3. 間違いなく伝えたいこと・言いにくいことは、事前に準備して、きちんと伝える

言葉では細かいことまでお伝えしづらいこともあります。事前にプリントした情報をお渡ししたり、多言語パンフレットや指さしツールを活用する等、ガイドとして伝えるべき情報をしっかり提供できると安心です。

4. 国別の特徴、宗教上のタブーやアレルギーに注意

できるだけお客様の情報を事前に入手し、文化の違いや宗教上注意すべきこと、アレルギーの有無等を確認し、柔軟に対応できるようにしておきましょう。

インバウンド対応の共通マナー

日本人には問題なくでも、外国人には NG！な行動があります。
以下の行動は特に注意しましょう。

1. 相手の身体や頭をむやみに触らない

特に女性には触らないようにしましょう。また、仏教が中心の国では「頭は精霊（神聖なもの）が宿るところ」と信じられていて触ることはタブーとされています。子供の頭をなでる等は避けた方が良いでしょう。

2. 人を人差し指 1 本で指さない

日本と同様に、多くの国でも失礼な行為です。

3. 左手で物を渡さない

イスラム教やヒンドゥー教圏の方々にとって左手は不浄の手とされています。昔トイレの後に左手で拭いていたためです。人に物を渡したり人に触ったりする際は右手を使いましょう。

4. OK のサインは外国人にも伝わるものを

親指と人差し指で○を作る OK のサイン：

中南米諸国の方には、男性向けに「肛門」、女性向けに「女性器」の意味になる

フランス・オーストラリアの方には「ゼロ」の意味になる

ニュージーランドの方にはこのしぐさは怠け者とみられる

片手の親指を上立てる方法（Thumbs up）：

概ね無難ですが、中東・イスラム圏の方には最大級の侮辱（Fuck you と同じ）を表すので注意

5. こっちに来てのジェスチャーに注意

手のひらを下にして上下に振る「こっちに来て」のジェスチャーは、アメリカでは反対に「（追い払う意味の）あっちに行って」になります。アメリカやイギリスでは、手のひらを上にして手首を曲げるジェスチャーで「こっちに来て」の意味になります。

日本遺産ガイド 基本のおもてなしフレーズ

	かんたん	より丁寧
あいさつ	Hello. Hi. Good morning. Good evening. Good night. など	あいさつ+お名前 お名前が分からない場合： あいさつ+ sir(サー) (男性の場合) あいさつ+ ma'am(マム) (女性の場合)
ようこそ	Welcome !	Welcome to ○○ ! 例) Welcome to Tokushima Prefecture !
何かお手伝いしましょうか？	May I help you?	
名前を聞く	Your name, please?	May I have your name?
スペルを聞く	The spelling, please?	May I have the spelling?
ありがとう	Thank you.	Thank you for ~ ing. 例) Thank you for coming.
どういたしまして	You're welcome.	It's my pleasure.
手を消毒してください	Please clean your hands.	Please use hand(ハンド) sanitizer(サニタイザー).
はい、どうぞ	Here, you are.	
わかりました	Sure. / O.K.	Certainly, sir/ ma'am.
こちらへどうぞ	This way, please.	This way, please. + sir/ ma'am.
一緒に来てください	Come with me, please.	
歩いて 15 分かかります	15 minutes' walk.	It takes about 15 minutes to get there by walk.
靴を脱いでください	No shoes, please.	Take off your shoes, please.
足元にお気をつけください	Watch your step, please.	
少々お待ちください	Wait a moment, please.	
お待たせしました	Thank you for waiting.	I'm sorry to have kept you waiting.
入館料は 500 円です	It is 500 Yen.	Admission fee is 500 Yen.
これは無料です	It's free.	You can get this for free.
これがおすすめです	This is good.	I recommend this.
またいらしてください	Please come again.	We are looking forward to seeing you again.

日本遺産ガイド頻出単語

日本語	英単語
日本遺産	Japan heritage
文化財	cultural asset
国指定重要文化財	national important cultural property
登録有形文化財	registered tangible cultural property
国史跡	National historic site
住宅	Residence
特色	unique
地域	local
歴史的な建造物	Historical buildings
景観	landscape
町並み	townscape
伝統的な街並み	traditional townscape
屋根	roof
漆喰	Mortar / plaster
藍師	Ai masters
藍商人	Ai merchants
染	indigo dye
寝床	Ai manufacturing facility
藍屋敷	Ai yashiki mansion
文書	documents
天然素材	natural materials
染めの技術	dyeing method

日本語	英単語
郷土芸能	local performing art
阿波踊り	Awa Odori Dance
お座敷芸	riotous amusement parlor performance
阿波藍で莫大な富を得た豪商	The Ai merchants who gained enormous wealth from Awa Ai
人形浄瑠璃	Ningyo Joruri puppet show
吉野川流域	Yoshino River Basin
防火壁	fire walls
サービスの値段(形なし)	charge
何かをするのにかかった総額	cost
運賃・タクシー・バス・電車	fare
相場(一定の基準をもとに算定)	rate
通行料(高速代等)	toll
報酬(ガイド料など)	fee
クレジットカード払い	pay by credit card
現金払い	pay in cash
消費税	consumption tax
おつり	change
領収書	receipt

【ポイント】“Ai”(藍) ははじめだけ“Japanese indigo”と説明してから使い始めると良いでしょう。

指さしガイドツール

●数字と単位

無料 Free	0 zero	1 one	2 two	3 three	4 four	5 five
6 six	7 seven	8 eight	9 nine	10 ten	11 eleven	12 twelve
13 thirteen	14 fourteen	15 fifteen	16 sixteen	17 seventeen	18 eighteen	19 nineteen
20 twenty	30 thirty	40 forty	50 fifty	60 sixty	70 seventy	80 eighty
90 ninety	00 hundred	000 Thousand	__時 o'clock	__時間 hour(s)	__分 minute(s)	日本円 Japanese Yen
午前 AM	午後 PM	正午 noon	集合時間 meeting time	出発時間 departure time		到着時間 arrival time
運賃 fare		入場料 admission fee		ガイド料 guide fee		
合計 in total		お客様 1 名につき per person		ガイド 1 名につき per guide		

●出会ったとき

おはようございます Good morning.	こんにちは Good afternoon.	こんばんは Good evening.
はじめまして Nice to meet you.	いらっしゃいませ Hello! May I help you?	ゆっくりお過ごしください Please enjoy your stay here.
何かお困りですか Do you need some help?	ご案内しますよ I can guide you.	調べてみます Let me check.
マスク着用をお願いします Please wear a face mask.	手の消毒をお願いします Please disinfect your hands with alcohol.	検温にご協力ください Let us take your temperature.

●基本コミュニケーション

わたしは__と申します I'm ____.	わたしはガイドです I'm a guide.	分かりました I see.	分かりません I don't understand.
申し訳ございません I'm sorry.	待ってください Just a second.	はい Yes.	いいえ No.
その通りです That's right.	それは違います No.	できます Yes, I can.	できません No, I can't.

指さしガイドツール

●ガイドの予約を確認するとき

お名前を教えてください May I have your name?	お会いできてうれしいです I'm happy to see you.	何名様でしょうか How many people in your party?
予約いただいていますか？ Do you have a reservation?	申込書をご記入ください。 Please fill out the form.	ガイド料は___円です。 Guide fee is ___ Japanese yen.

●ガイド中

これからガイドツアーに出発します。 Let's go on a guided tour.		今日は___と___をご案内します。 I'll take you to ___ and ___ today.			
ここから___分くらいかかります。 It takes ___ minutes.	歩いて on foot	車で by car	電車で by train	バスで by bus	タクシーで by taxi
これは英語のパンフレットです。 This is a brochure in English.	ここに英語の翻訳が書かれています。 This is English translation.		自由にご覧下さい。 Feel free to look around.		
写真をお撮りしましょうか。 Shall I take your photo?	___時にここに帰ってきてください。 Let's meet again here at ___時___分		出口で待っています。 I'll be waiting at the exit at ___時___分.		

●お土産

こちらの商品が人気です This is very popular.	和菓子 Japanese confectionery	和風小物 Japanese knick-knacks
藍染製品 Ai-dyed goods	鳴門金時 Naruto kintoki sweet potatoes	和三盆 Wasanbon Japanese sugar

●お別れ

ありがとうございました Thank you very much.	またお越しください Visit us again, please.	お気をつけて I hope you have a safe trip.
-------------------------------------	--------------------------------------	--

■ 出典

- ・日本遺産とは (P.4) : 文化庁『日本遺産ポータルサイト』
< <https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/about/index.html> >

■ 参考文献

- ・人はなぜ旅をするのか (P.5) : 佐々木土師二, 『旅行者行動の心理学』, 関西大学出版部, 2000
- ・北島町所蔵 藍関連文書 ガイディングキーワード (P.35) : 『徳島東部 12 市町村 結ぶ vol.8』, 「歴史のヒント 北島町」, 徳島東部地域定住自立圏推進協議会事務局編, 2016

■ 参考 Web サイト

- ・徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 < <https://joruri.info/jurobe/> >
- ・阿波おどり会館 < <https://awaodori-kaikan.jp/> >
- ・蜂須賀桜と武家屋敷の会 < <https://www.hachisukasakura.com/index.html> >
- ・徳島市『徳島中央公園』
< <http://www.city.tokushima.tokushima.jp/shisetsu/park/chuo.html> >
- ・徳島市『金刀比羅神社の石灯籠』
< http://www.city.tokushima.tokushima.jp/kankou/shimin_isan/history/014.html >
- ・旧吉野川遊園地 < <https://ja.wikipedia.org/wiki/吉野川遊園地> >
- ・阿波和紙伝統産業会館 < <http://www.awagami.or.jp/kaikan/> >
- ・川島公園 < <https://ja.wikipedia.org/wiki/川島公園> >
- ・イタリアンジェラートドルチェ < <http://tokushima-dolce.com/> >
- ・阿波市観光協会『影山養蜂研究所』
< <https://www.awa-kankou.jp/odekake/kageyamayouhou/> >
- ・美馬観光ビューロー < <https://mimakankou.or.jp/event/脇町潜水橋/> >
- ・道の駅藍ランドうだつ
< <http://www.michinoeki-tokushima.com/udatu/airandoudatsu.html> >
- ・石井町『五社神社』 < <https://www.town.ishii.lg.jp/docs/2018100400123/> >
- ・阿波食ミュージアム < <http://awashoku.com/> >
- ・徳島県観光情報サイト阿波ナビ『北島チューリップ公園』
< <https://www.awanavi.jp/spot/20554.html> >
- ・北島町『光蓮寺の夢告げ地蔵』 < <https://www.town.kitajima.lg.jp/docs/288241.html> >
- ・藍住町『藍住町バラ園』 < <https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2014011400108/> >
- ・藍住町『藍の館』 < <https://www.town.aizumi.lg.jp/ainoyakata/> >
- ・四国八十八カ所霊場会『第 5 番札所 地蔵寺』 < <https://88shikokuhenro.jp/05jizoji/> >
- ・上板町『技の館』 < <https://www.townkamiita.jp/skill/yakata.html> >
- ・岡田製糖所 < <http://www.wasanbon.co.jp/> >

藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～
日本遺産ガイドマニュアル

発 行 令和3年3月

発行者 藍のふるさと阿波魅力発信協議会

※無断複製・転載を禁じます※